

災害の概況

(平成30年)



鳥取県西部広域行政管理組合
消防局

目 次

(ページ数)

| | |
|-----------------------------|----|
| 災害概況のまとめ | 1 |
| I 火災概況 | |
| 1 火災の現況と動向 | 3 |
| 図 I - 1 過去10年間の火災件数の推移と火災種別 | 3 |
| 図 I - 2 過去10年間の出火件数と死傷者の推移 | 3 |
| 2 火災種別件数について | 4 |
| 図 I - 3 火災種別火災件数と構成比 | 4 |
| 3 市町村別出火状況について | 4 |
| 図 I - 4 市町村別火災件数と構成比 | 4 |
| 4 月別出火状況について | 5 |
| 図 I - 5 月別の火災種別毎出火件数 | 5 |
| 5 建物火災について | 5 |
| 表 I - 1 用途毎建物の月別出火 | 5 |
| 6 建物火災の出火原因について | 6 |
| 図 I - 6 建物火災の出火原因 | 6 |
| 7 その他火災について | 6 |
| 表 I - 2 その他火災の出火箇所 | 6 |
| 図 I - 7 その他火災の出火原因 | 6 |
| 8 死傷者について | 7 |
| 表 I - 3 火災による死傷者(月別) | 7 |
| 表 I - 4 火災による死傷者(曜日別) | 7 |
| 表 I - 5 死者の発生原因 | 7 |
| 別表 I - 1 火災の状況 | 8 |
| 別表 I - 2 市町村別火災状況 | 9 |
| II 救急概況 | |
| 1 救急出動件数、救急搬送状況 | 10 |
| 図 II - 1 事故種別救急出動状況 | 10 |
| 図 II - 2 事故種別救急搬送状況 | 10 |
| 図 II - 3 過去5年間の救急推移 | 11 |
| 2 市町村別救急活動状況 | 11 |
| 図 II - 4 市町村別救急活動状況 | 11 |
| 3 傷病程度別搬送状況 | 12 |
| 図 II - 5 傷病程度別搬送状況 | 12 |
| 4 年齢別搬送状況 | 12 |
| 図 II - 6 年齢別搬送状況 | 12 |
| 5 署所別救急活動状況 | 13 |
| 図 II - 7 署所別救急活動状況 | 13 |
| 6 月別救急活動状況 | 13 |
| 図 II - 8 月別救急活動状況 | 13 |

| | | |
|----------|-------------------------|----|
| 7 | 現場到着所要時間、収容所要時間 | 14 |
| | 図Ⅱ－9 現場到着所要時間 | 14 |
| | 図Ⅱ－10 収容所要時間 | 14 |
| 8 | 応急手当実施状況 | 15 |
| | 図Ⅱ－11 応急手当実施状況 | 15 |
| 9 | 高度救命処置状況 | 15 |
| | 図Ⅱ－12 高度救命処置件数 | 15 |
| | 図Ⅱ－13 医師引き継ぎ時の状況 | 15 |
| 10 | 救急講習件数の推移 | 16 |
| | 図Ⅱ－14 過去5年間の救急講習件数推移 | 16 |
| | 図Ⅱ－15 過去5年間の救急講習人員推移 | 16 |
| 11 | 市町村別救急活動の推移 | 17 |
| | 表Ⅱ－1 過去5年間の市町村別救急件数 | 17 |
| Ⅲ | 救助概況 | 18 |
| 1 | 事故種別救助出動状況 | 18 |
| | 図Ⅲ－1 事故種別救助出動状況 | 18 |
| 2 | 事故種別救助活動状況 | 18 |
| | 図Ⅲ－2 事故種別救助活動状況 | 18 |
| 3 | 事故種別救助人員状況 | 19 |
| | 図Ⅲ－3 事故種別救助人員状況 | 19 |
| 4 | 管轄別救助活動状況 | 19 |
| | 図Ⅲ－4 管轄別救助活動状況 | 19 |
| 5 | 市町村別救助活動状況 | 20 |
| | 図Ⅲ－5 市町村別救助活動状況 | 20 |
| 6 | 月別救助活動状況 | 20 |
| | 図Ⅲ－6 月別救助活動状況 | 20 |
| Ⅳ | 119番着信概況 | 21 |
| 1 | 着信件数の概況 | 21 |
| | 表Ⅳ－1 着信件数内訳 | 21 |
| 2 | 月別の119番着信状況 | 21 |
| | 表Ⅳ－2 月別119番着信状況 | 21 |
| 3 | 電話種別による119番着信状況 | 22 |
| | 表Ⅳ－3 電話種別による119番着信件数の推移 | 22 |
| | 表Ⅳ－4 電話種別による通報状況 | 22 |
| 4 | 携帯電話からの着信状況 | 23 |
| | 表Ⅳ－5 携帯電話からの着信状況 | 23 |
| | 表Ⅳ－6 携帯電話の消防機関別転送状況 | 23 |
| 5 | 時間帯別119番通報の着信状況 | 24 |
| | 図Ⅳ－1 時間帯別着信状況 | 24 |

注:本文中の各割合(%)については、端数処理のため合計が100%にならない場合があります。

災害概況のまとめ

(※注：以下の増減数値は、昨年同期比を示します。)

I 火災概況

平成30年中の出火件数は119件(30件の増加・+33.7%)となりました。

火災種別でみると、建物火災は57件(21件の増加・+58.3%)、林野火災は3件(2件の増加・+200%)、その他火災が57件(15件の増加・+35.7%)といずれも増加しています。

車両火災は2件(7件の減少・-77.8%)となり、船舶火災はありませんでした。

焼損棟数は出火件数が増加したことから93棟(44棟の増加・+89.8%)、全焼棟数は32棟(20棟の増加・+約167%)、半焼棟数も8棟(4棟の増加・+100%)となり、焼損床面積は5,384㎡(3,818㎡の増加・+約244%)となりました。り災世帯数は37世帯108人がり災(14世帯54人の増加)されました。

死者は3人でうち2人は建物火災で発生しています。負傷者は15人(11人の増加・+275%)となりました。負傷者15人のうち3人が爆発によるものです。

建物火災における損害額は火災件数の増加により158,872千円(63,307千円の増加・+66.2%)となりました。また、爆発により1,547千円の損害が発生しています。(別表I-1 火災の状況参照)

総務省消防庁の住宅用火災警報器の都道府県別設置率及び条例適合率(平成30年6月1日時点)によると、鳥取県は設置率82.2%、条例適合率64.8%で、西部消防局管内は設置率79%、条例適合率61%と県数値をやや下回っている状況となっています。

平成30年中西部消防局管内では、住宅用火災警報器が作動により早期に発見により「火災に至らなかった」、「ぼや」でおさまった等の奏功事例が3件ありました。

住宅防火対策として住宅用火災警報器未設置世帯に対して、火災予防条例に適合するよう設置促進を行い、設置率の向上によって住宅火災による死者の減少を図ると共に、設置済み住宅についても設置から10年以上経過またはそれ以前であっても電池切れや本体内部の電子部品の劣化により火災を感知しなくなることが考えられることから、定期的な作動確認や本体の交換を推進するなどの、維持管理に関する広報活動を継続的に行いながら日頃からの出火防止についての啓発を行ってまいります。

II 救急概況

平成30年中の救急出動件数は11,702件(741件の増加・+6.7%)、救急搬送人数は10,305人(638人の増加・+6.6%)で、ともに過去最多となっています。

事故種別ごとの出動件数は、急病7,455件(63.7%)と半数以上を占め、次いで一般負傷1,625件(13.8%)、転院搬送1,342件(11.5%)、交通事故732件(6.2%)の順となっています。

年齢別の搬送人数は、65歳以上の高齢者が6,983人(63.5%)と全搬送人数の6割以上を占めています。今後も少子高齢化の進展、猛暑等の影響により更に割合が増加することが予測されます。

鳥取県電話相談事業(#7119)等を利用した、救急車の適正利用を推進します。

早期の応急手当により尊い生命が救われています。応急手当普及促進やAEDの設置協力を推進します。

Ⅲ 救助概況

平成30年中の救助出動件数は195件(13件の増加・+6.7%)、救助活動件数は149件(38件の増加・+25.5%)となっています。また、救助を要した人員(以下救助人員という。)は115人(29人の増加・+25.2%)です。

事故種別ごとの救助出動件数は、交通事故が80件(41.0%)と最も多く、次いで、火災が48件(24.6%)、その他の事故が43件(22.1%)、建物等による事故が17件(8.7%)、水難事故が4件(2.1%)、ガス・酸欠事故が2件(1.0%)、機械による事故が1件(0.5%)となっています。

救助人員では交通事故が最も多く62人(53.9%)、次いでその他の事故36人(31.3%)、建物等による事故が9人(7.8%)、火災が4人(3.5%)、水難事故が2人(1.7%)、ガス・酸欠事故が1人(0.9%)、機械による事故が1人(0.9%)の順となっています。

年々、風水害等の規模が大きくなり、甚大な被害が各地で発生しています。被害を最小限にするためには、県内外の消防機関、医療機関、防災機関、国、県及び市町村などとの日頃からの迅速な連携活動が必要不可欠と考えています。

Ⅳ 119番着信概況

平成30年中の119番通報の着信件数の概況は、総着信件数は15,633件(1,138件の増加・+7.2%)となりました。事故種別ごとの着信件数を見ますと、「火災通報」245件(1.6%)、「救急通報」11,052件(70.8%)、「救助通報」96件(0.6%)、「警戒通報」390件(2.5%)、「問合せ」882件(5.6%)、「間違い」757件(4.8%)、「悪戯」140件(0.9%)、「訓練等」2,071件(13.2%)でした。総着信件数のうち、火災、救急、救助の災害通報は、11,393件で全体の約73%を占めています。

電話種別ごとに着信件数を見ますと、固定・IP電話による通報は9,329件(59.7%)、携帯電話による通報は6,304件(40.3%)でした。

火災、救助、警戒といった屋外で発生、または発見されることの多い災害では、携帯電話による通報比率が約63%と高く、自宅や屋内などで発生することが多い救急通報は、固定・IP電話による通報比率が約60%と高くなる現象が見られます。

携帯電話からの119番通報では、災害発生場所の特定に時間を要する場合がありますが、統合型位置情報通知システムの導入によりGPS機能を備えた携帯電話からの通報は、おおよその位置情報が把握可能となりました。しかし、機種によっては位置情報の把握が困難な場合もあります。

I 火災概況

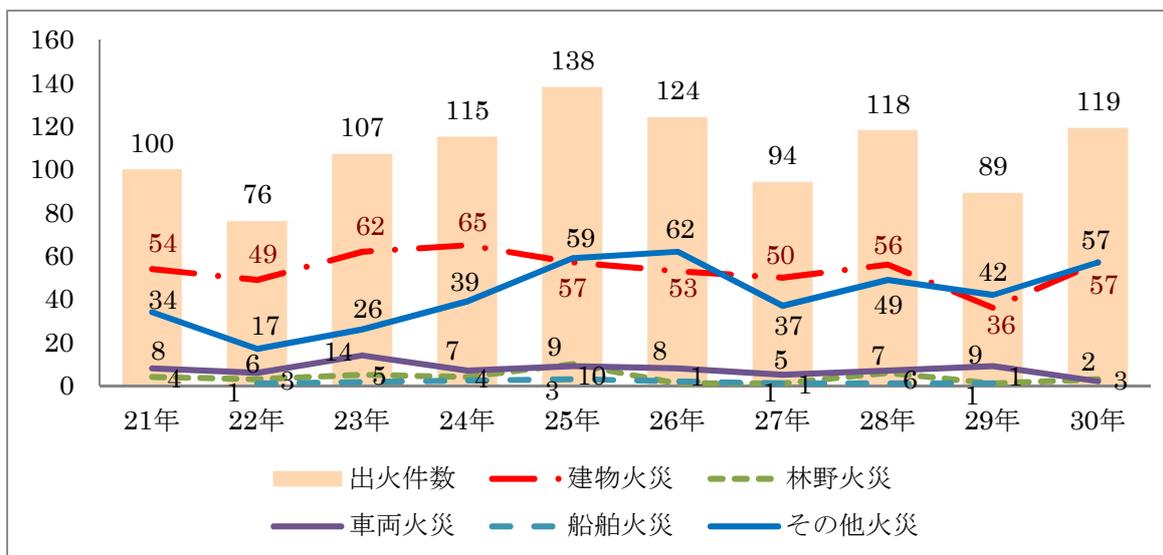
(平成30年1月～12月)

1 火災の現況と動向

この10年間の火災件数をみると、平成22年、27年、29年は二桁となっていますが、平成25年の138件をピークに110件前後で推移しています。

(図I-1参照)

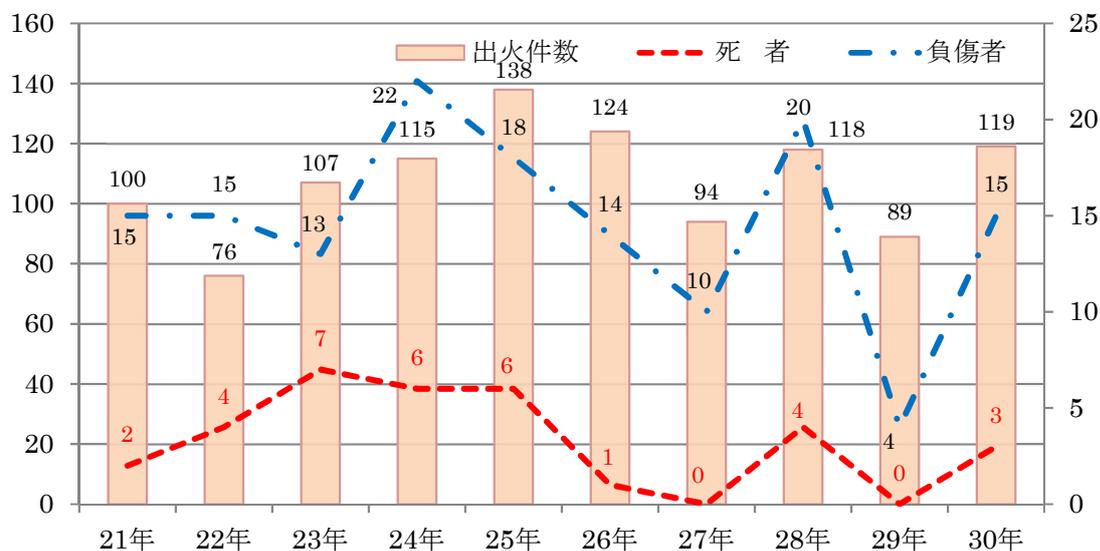
図I-1 過去10年間の火災件数の推移と火災種別



過去10年間の火災による死者の年間平均は3.3人となっています。平成23年が7人と最大で24年、25年が連続6人となっていますが、27年、29年は死者0とやや減少傾向となっています。

負傷者は年間平均14.6人となりますが、平成24年の22人が最大で、平成29年の4人を除く全ての年で10人以上となっています。(図I-2参照)

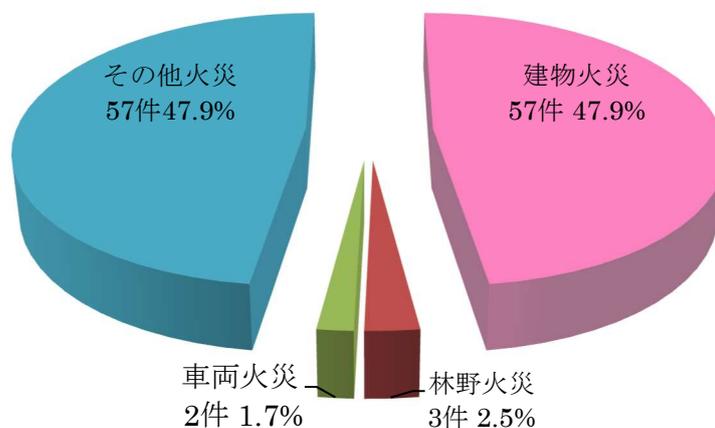
図I-2 過去10年間の出火件数と死傷者の推移



2 火災種別件数について

平成30年中の出火件数119件のうち、建物火災・その他火災がいずれも57件で合計114件となり全体の約96%を占めています。（図I-3参照）

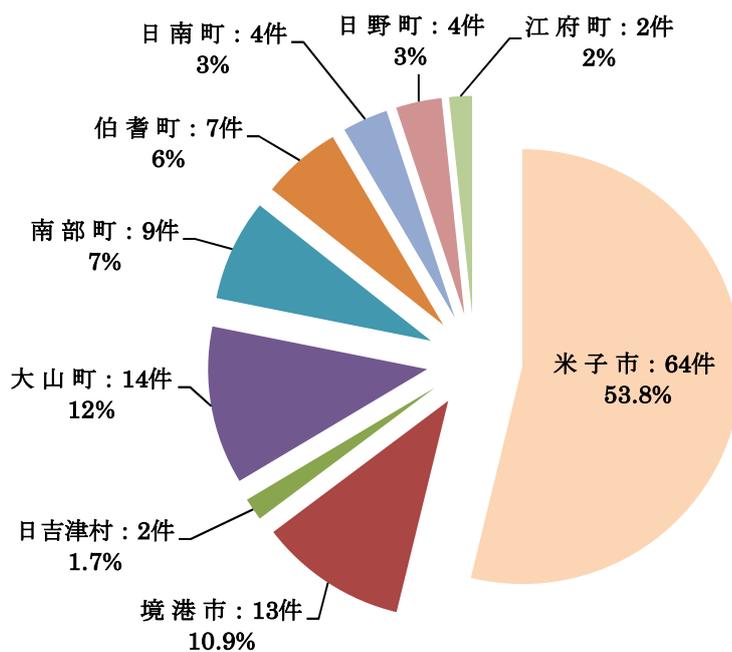
図I-3 火災種別火災件数と構成比



3 市町村別出火状況について

119件の火災件数を市町村別で見ると、米子市が最も多く64件、次いで大山町14件、境港市13件、南部町9件、伯耆町7件、日南町・日野町がいずれも4件、日吉津村・江府町が2件となっています。（図I-4参照）

図I-4 市町村別火災件数と構成比



(別表I-2市町村別火災状況参照)

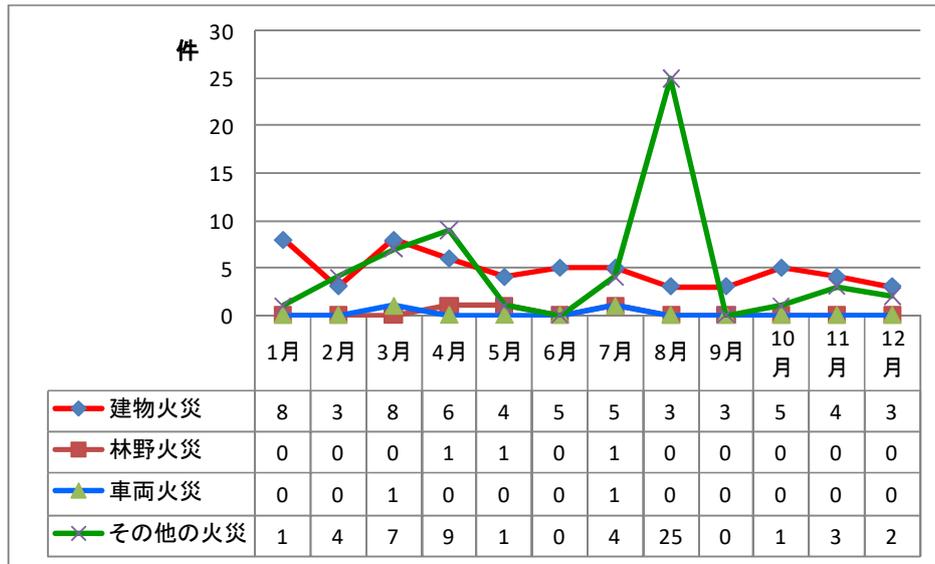
4 月別出火状況について

建物火災57件を3ヶ月毎にみると、1月から3月の第1四半期19件（33.3%）、4月から6月の第2四半期15件（26.3%）、7月から9月の第3四半期11件（19.3%）、10月から12月の第4四半期12件（21.1%）で、1月から3月の期間中の出火が多くなっています。

その他火災57件については、6月と9月を除き毎月発生していますが7月と8月の2ヶ月間で29件（50.9%）と半数以上を占めています。

（図I-5参照）

図I-5 月別の火災種別毎出火件数



5 建物火災について

建物火災57件のうち住宅火災（併用住宅、共同住宅を含む）は21件で、その内の14件（66.7%）が1月から4月にかけて発生しています。

（表I-1参照）

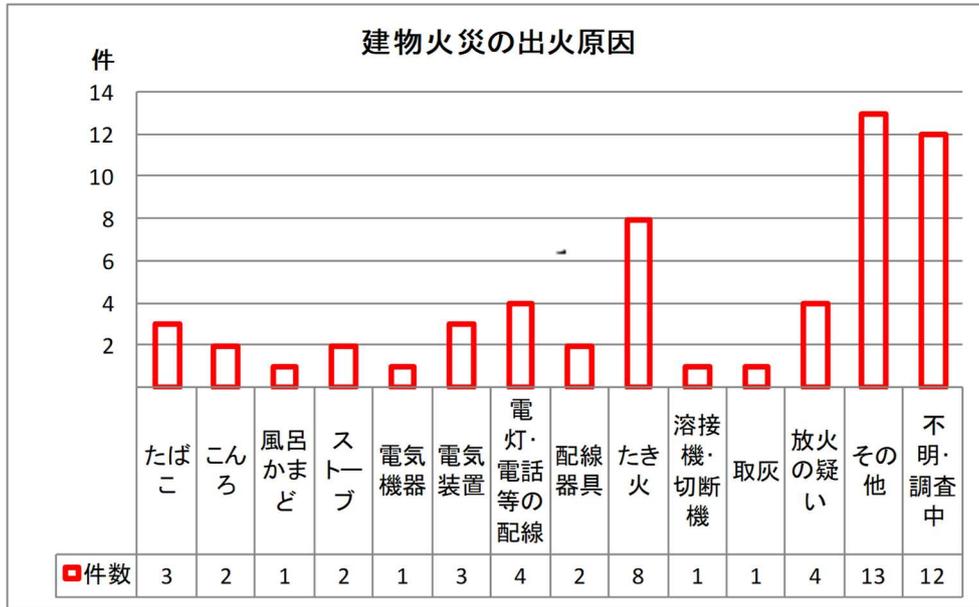
表I-1 用途毎建物の月別出火状況

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 合計 |
|-----------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|
| 住 宅 | 4 | 1 | 5 | 4 | | | 1 | | | 1 | 1 | 1 | 18 |
| 併用住宅 | | | | | | | | | | 1 | 1 | | 2 |
| 共同住宅 | | | | | | 1 | | | | | | | 1 |
| 飲 食 | 1 | | | | | | | | | | 1 | 1 | 3 |
| 物品販売店舗 | | | | | | 1 | | | 1 | | | | 2 |
| 社会福祉施設 | 1 | | | | | | | | | | | | 1 |
| 神社・寺院 | | | | | | | | 1 | | | | | 1 |
| 工 場 | 1 | 1 | | | 1 | | | | 1 | 1 | 1 | | 6 |
| 倉 庫 | | 1 | | | 1 | | | | | 2 | | | 4 |
| 事 務 所 | 1 | | 1 | | | | | | | | | | 2 |
| 複合用途（非特定） | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| そ の 他 | | | 2 | 2 | 2 | 3 | 4 | 2 | 1 | | | | 16 |
| 建物火災計 | 8 | 3 | 8 | 6 | 4 | 5 | 5 | 3 | 3 | 5 | 4 | 3 | 57 |

6 建物火災の出火原因について

火災原因として、小分類に該当しないその他が13件、不明・調査中が12件となっています。たき火の8件の内訳は、たき火の燃え広がり建物に移ったものです。次いで、配線、放火の疑いが4件となっています。(図I-6参照)

図I-6 建物火災の出火原因



7 その他火災について

その他火災を出火箇所別で見ると田畑が最も多く22件、次いで空地の9件となっています。線路内の枕木を焼損する火災も7件発生しています。出火原因は、田畑・空地等でのたき火の燃え広がりによるものが最も多く27件となっています。(表I-2、図I-7参照)

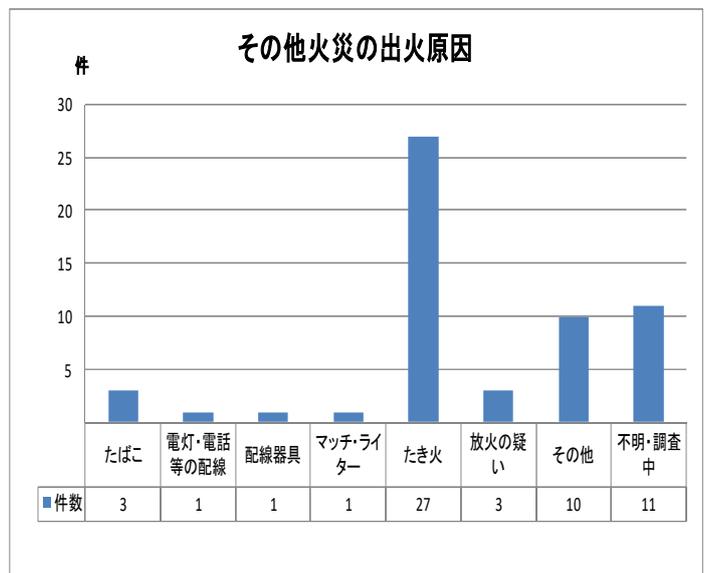
(表I-2、図I-7参照)

表I-2 その他火災の出火箇所

(単位: 件)

| 出火箇所 | | 平成30年 |
|--------|---------|-------|
| 道路・空地等 | 電柱類 | 1 |
| | 広告塔 | 1 |
| | 道路 | 1 |
| | 軌道敷 | 7 |
| | 河川敷等 | 3 |
| | 空地 | 9 |
| | 田畑 | 22 |
| | 公園 | 3 |
| | 墓地 | 2 |
| | 屋外物品集積場 | 1 |
| | ごみ集積場 | 2 |
| | 敷地内 | 2 |
| | その他 | 3 |

図I-7 その他火災の出火原因



8 死傷者について

死傷者の発生状況について月別でみると、死者は4月、5月、8月に各1人合計3となりました。負傷者は1月6人、2月、4月、5月、7月、8月に各1人、11月4人の合計15人となっています。

死傷者の発生状況を曜日でみると、死者については金曜日1人、土曜日2人と週末にかけて発生しています。負傷者は日曜日と木曜日を除き発生し月曜日5人、火曜日1人、水曜日2人、金曜日4人、土曜日3人となっています。

(表I-3、I-4参照)

表I-3 火災による死傷者（月別）

| | 死者負傷者 | |
|-----|-------|-----|
| | 死者 | 負傷者 |
| 1月 | | 6 |
| 2月 | | 1 |
| 3月 | | |
| 4月 | 1 | 1 |
| 5月 | 1 | 1 |
| 6月 | | |
| 7月 | | 1 |
| 8月 | 1 | 1 |
| 9月 | | |
| 10月 | | |
| 11月 | | 4 |
| 12月 | | |
| 計 | 3 | 15 |

表I-4 火災による死傷者（曜日別）

| | 死者負傷者 | |
|-----|-------|-----|
| | 死者 | 負傷者 |
| 日曜日 | | |
| 月曜日 | | 5 |
| 火曜日 | | 1 |
| 水曜日 | | 2 |
| 木曜日 | | |
| 金曜日 | 1 | 4 |
| 土曜日 | 2 | 3 |
| 計 | 3 | 15 |

死者の発生原因は、たき火、放火の疑い、不明・調査中がそれぞれ1人で、負傷者の発生原因は、たばこ4人、こんろ、たき火が各1人、その他が7人、不明・調査中が2人となっています。

(表I-5参照)

表I-5 死者の発生原因

| | たばこ | こんろ | たき火 | 放火の疑い | その他 | 不明・調査中 | 合計 |
|-----|-----|-----|-----|-------|-----|--------|----|
| 死者 | | | 1 | 1 | | 1 | 3 |
| 負傷者 | 4 | 1 | 1 | | 7 | 2 | 15 |

別表 I - 1 火災の状況

(各年中)

| 区 分 | 単位 | 平成21年 | 平成29年 (A) | 平成30年 (B) | 増 減 (B) - (A) (C) | 増 減 率 (C) / (A) × 100 (%) |
|---------------|----------------|---------|--------------|--------------|-------------------------|---------------------------------|
| 出 火 件 数 | 件 | 100 | 89 | 119 | 30 | 33.7 |
| 建 物 火 災 | | 54 | 36 | 57 | 21 | 58.3 |
| 林 野 火 災 | | 4 | 1 | 3 | 2 | 200.0 |
| 車 両 火 災 | | 8 | 9 | 2 | △ 7 | △ 77.8 |
| 船 舶 火 災 | | | 1 | | △ 1 | △ 100.0 |
| そ の 他 火 災 | | 34 | 42 | 57 | 15 | 35.7 |
| 焼 損 棟 数 | 棟 | 76 | 49 | 93 | 44 | 89.8 |
| 全 焼 | | 21 | 12 | 32 | 20 | 166.7 |
| 半 焼 | | 3 | 4 | 8 | 4 | 100.0 |
| 部 分 焼 | | 29 | 12 | 19 | 7 | 58.3 |
| ぼ や | | 23 | 21 | 34 | 13 | 61.9 |
| 建 物 焼 損 床 面 積 | m ² | 3,187 | 1,566 | 5,384 | 3,818 | 243.81 |
| 建 物 焼 損 表 面 積 | m ² | 130 | 208 | 93 | △ 115 | △ 55.29 |
| 林 野 焼 損 面 積 | a | 20 | 6 | 29 | 23 | 383.33 |
| 死 者 | 人 | 2 | 0 | 3 | 3 | |
| 負 傷 者 | 人 | 15 | 4 | 15 | 11 | 275.00 |
| り 災 世 帯 数 | 世帯 | 47 | 23 | 37 | 14 | 60.87 |
| 全 損 | | 12 | 5 | 13 | 8 | 160.00 |
| 半 損 | | 3 | 4 | 3 | △ 1 | △ 25.00 |
| 小 損 | | 32 | 14 | 21 | 7 | 50.00 |
| り 災 人 員 | 人 | 125 | 54 | 108 | 54 | 100.00 |
| 損 害 額 | 千円 | 190,100 | 97,388 | 159,516 | 62,128 | 63.79 |
| 建 物 火 災 | | 187,180 | 95,565 | 158,872 | 63,307 | 66.24 |
| 林 野 火 災 | | 286 | 0 | 0 | 0 | |
| 車 両 火 災 | | 2,438 | 1,775 | 270 | △ 1,505 | △ 84.79 |
| 船 舶 火 災 | | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| そ の 他 火 災 | | 196 | 48 | 374 | 326 | 679.17 |
| 爆 発 | | 0 | 0 | 1,547 | 1,547 | |
| 出 火 率 | 件/万人 | 4.16 | 3.81 | 5.10 | 1.29 | — |

(備考)

- 1 各年の数値は、1月～12月に発生した火災を集計したもの。
- 2 「建物火災」とは、建物またはその収容物が焼損した火災。
- 3 「林野火災」とは、森林、原野又は牧野が焼損した火災。
- 4 「車両火災」とは、自動車車両、鉄道車両及び被けん引車又はこれの積載物が焼損した火災。
- 5 「船舶火災」とは、船舶又はその積載物が焼損した火災。
- 6 「その他火災」とは、建物火災、林野火災、車両火災及び船舶火災以外の火災。(空地、田畑、道路、河川敷、ごみ集積場、屋外物品集積所、軌道敷、電柱類の火災)
- 7 死者には、火災により負傷した後、48時間以内に死亡した者を含む。
- 8 出火率とは、人口1万人当たりの出火件数。
- 9 △は負数を表す。
- 10 増減率は、表示単位未満を四捨五入。
- 11 人口は、平成29年、平成30年については1月1日現在の鳥取県統計課 鳥取県の推計人口による。
- 12 「爆発」による損害額については、火災種別に関わらず、「損害額」中の「爆発」に計上。

別表 I - 2

市町村別火災状況

| 市町村名 | 火災件数 | | | | 焼損面積 | | | | 焼損棟数 | | | | り災人員 | | 死傷者 | | |
|------|------|------|----|----|------|----|-------|--------------------|--------------------|------|----|----|------|----|-----|-----|-----|
| | 合計 | 前年数 | 建物 | 林野 | 車両 | 船舶 | その他 | 床面積 m ² | 表面積 m ² | 林野 a | 合計 | 全 | 半 | 部分 | ぼや | 死者 | 負傷者 |
| 米子市 | 64 | (49) | 32 | | 2 | | 30 | 2,102 | 52 | | 53 | 17 | 2 | 12 | 22 | 1 | 8 |
| 境港市 | 13 | (15) | 7 | | | 6 | 551 | | | | 9 | 1 | 1 | 2 | 5 | | 3 |
| 日吉津村 | 2 | (2) | 2 | | | | 73 | | | | 2 | 1 | | | 1 | | 1 |
| 大山町 | 14 | (8) | 4 | | | 10 | 1,208 | 17 | | 1 | 7 | 3 | 1 | 2 | 1 | | |
| 南部町 | 9 | (4) | 3 | 3 | | 3 | 122 | 16 | | 26 | 10 | 5 | 1 | 1 | 3 | 2 | 1 |
| 伯耆町 | 7 | (4) | 4 | | | 3 | 423 | 7 | | | 5 | 2 | 2 | 1 | | 1 | |
| 日南町 | 4 | (2) | 4 | | | | 905 | 1 | | 2 | 6 | 3 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| 日野町 | 4 | (2) | 1 | | | 3 | | | | | 1 | | | | 1 | 2 | 2 |
| 江府町 | 2 | (3) | | | | 2 | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 119 | (89) | 57 | 3 | 2 | 57 | 5,384 | 93 | 29 | 93 | 93 | 32 | 8 | 19 | 34 | 108 | 15 |

前年数

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|---|---|---|----|-------|-----|---|----|----|---|----|----|----|----|--|---|
| 36 | 1 | 9 | 1 | 42 | 1,566 | 208 | 6 | 49 | 12 | 4 | 12 | 21 | 23 | 54 | | 4 |
|----|---|---|---|----|-------|-----|---|----|----|---|----|----|----|----|--|---|

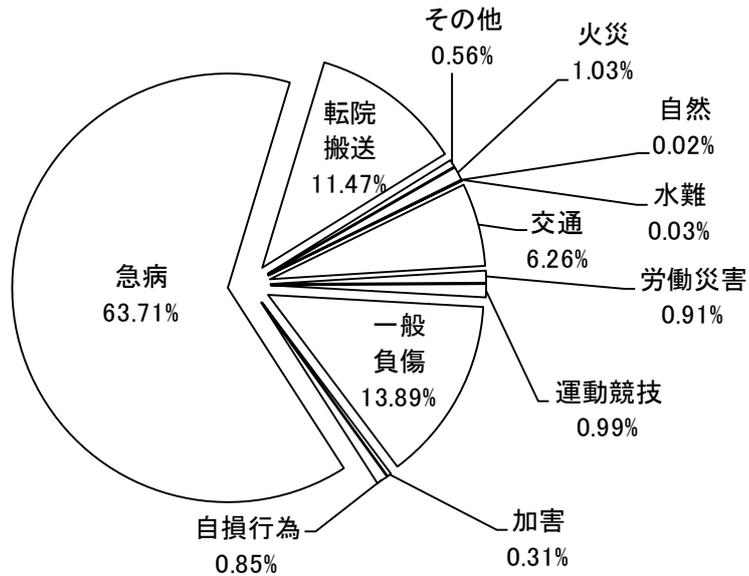
II 救急概況

(平成30年1月～12月)

1 救急出動件数、救急搬送状況

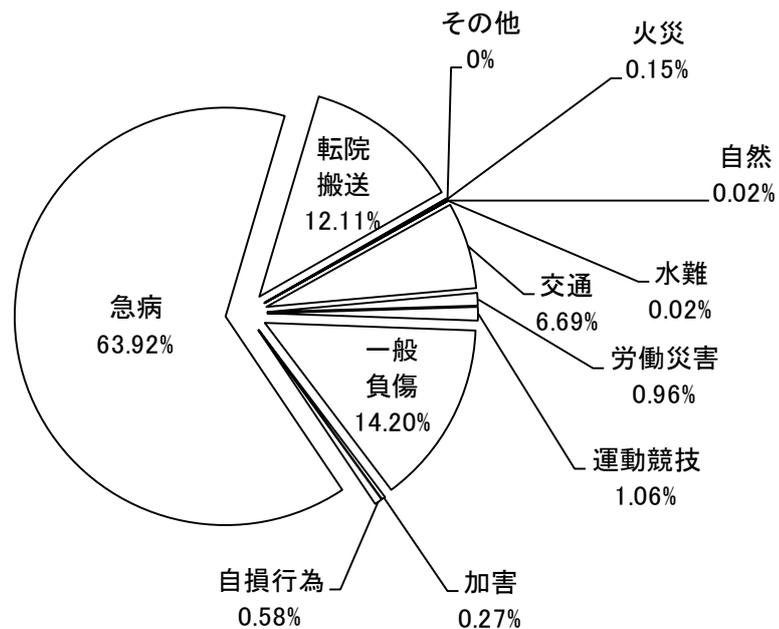
平成30年中の救急出動件数は、前年に比べて741件増加の11,702件、搬送人員は683人増加の10,988人で、件数、人員ともに過去最多となりました。(図II-1、II-2、II-3参照)

図II-1 事故種別救急出動状況



| 事故種別 | 火災 | 自然 | 水難 | 交通 | 労働災害 | 運動競技 | 一般負傷 | 加害 | 自損行為 | 急病 | 転院搬送 | その他 | 計 |
|------|-----|----|----|-----|------|------|-------|----|------|-------|-------|-----|--------|
| 出動件数 | 120 | 2 | 3 | 732 | 107 | 116 | 1,625 | 36 | 99 | 7,455 | 1,342 | 65 | 11,702 |

図II-2 事故種別救急搬送状況



| 事故種別 | 火災 | 自然 | 水難 | 交通 | 労働災害 | 運動競技 | 一般負傷 | 加害 | 自損行為 | 急病 | 転院搬送 | その他 | 計 |
|------|----|----|----|-----|------|------|-------|----|------|-------|-------|-----|--------|
| 搬送人員 | 17 | 2 | 2 | 735 | 106 | 117 | 1,560 | 30 | 64 | 7,024 | 1,331 | 0 | 10,988 |

図Ⅱ-3 過去5年間の救急推移

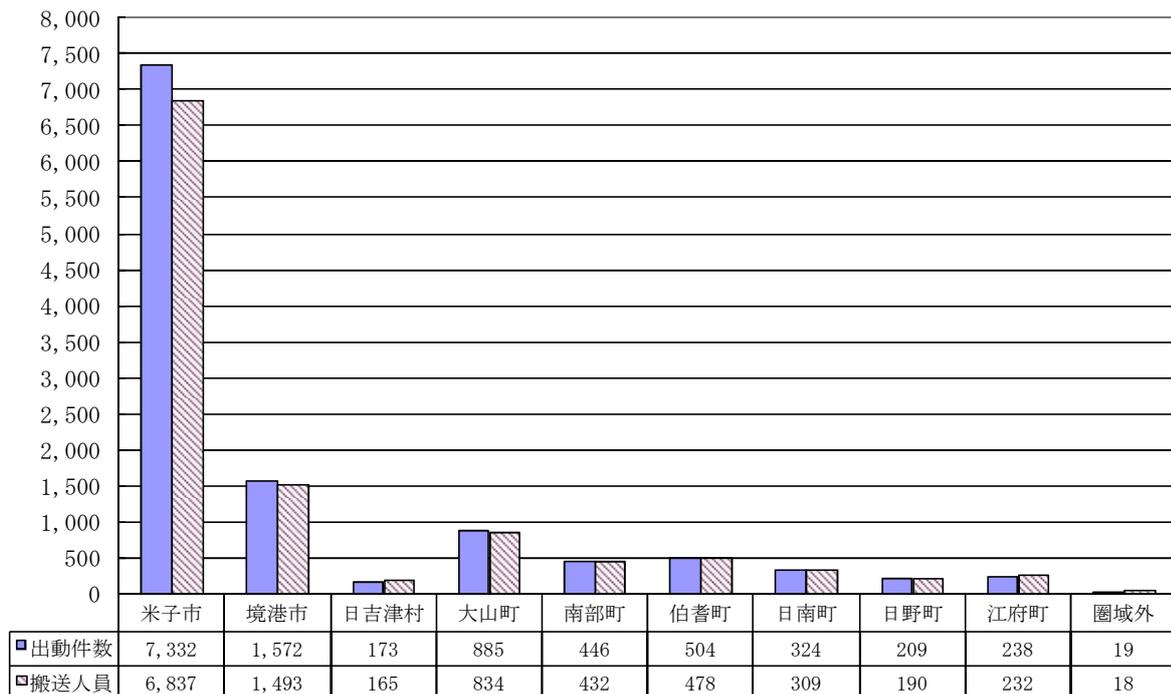


2 市町村別救急活動状況

平成30年中、救急件数が増加した市町村は米子市619件、境港市71件、大山町43件、南部町52件となりました。日吉津村、伯耆町、江府町、日南町は、僅かながら救急件数の減少が認められました。

(図Ⅱ-4 参照)

図Ⅱ-4 市町村別救急活動状況

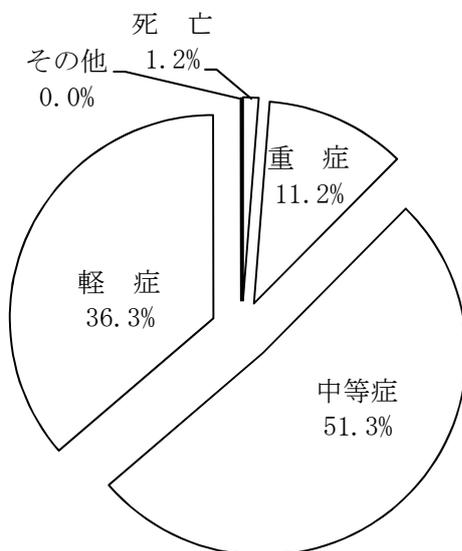


3 傷病程度別搬送状況

傷病程度別の搬送人員では、中等症が5,637人(51.3%)で最も多く、次いで軽症が3,988人(36.3%)となっています。

(図Ⅱ-5参照)

図Ⅱ-5 傷病程度別搬送状況



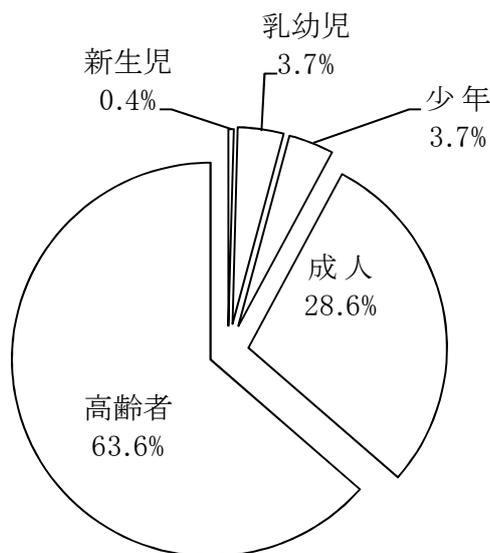
| 程 度 | 死 亡 | 重 症 | 中 等 症 | 軽 症 | そ の 他 | 合 計 |
|------|-----|-------|-------|-------|-------|--------|
| 搬送人員 | 134 | 1,226 | 5,637 | 3,988 | 3 | 10,988 |

4 年齢別搬送状況

年齢別の搬送人員では、65歳以上の高齢者が6,983人(63.6%)と最も多くなっています。

(図Ⅱ-6参照)

図Ⅱ-6 年齢別搬送状況



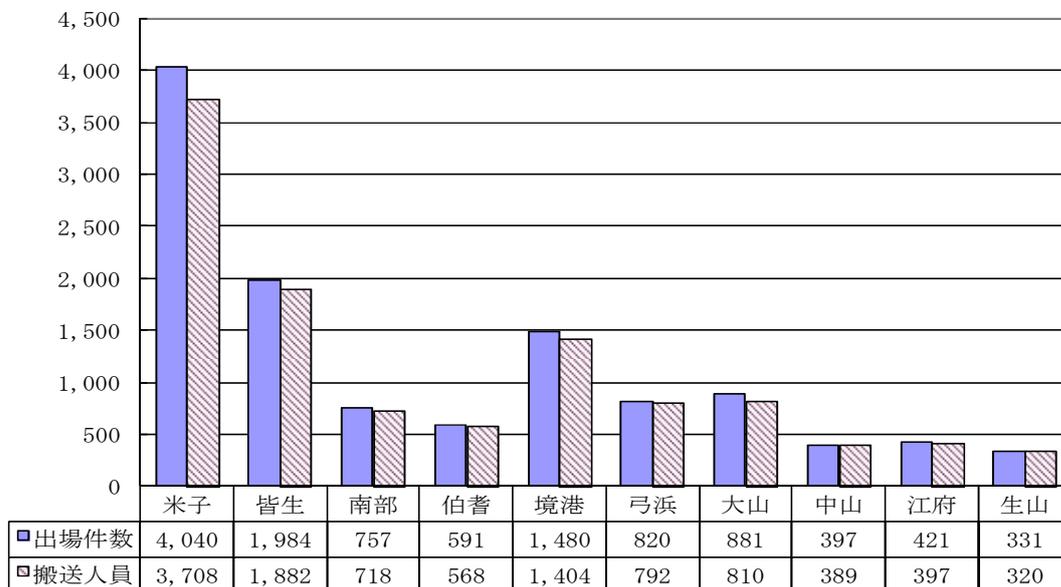
| | 新生児 | 乳幼児 | 少年 | 成人 | 高齢者 | 合計 |
|------|-----|-----|-----|-------|-------|--------|
| 搬送人員 | 47 | 409 | 403 | 3,146 | 6,983 | 10,988 |

5 署所別救急活動状況

署所別では、米子消防署の出動件数及び搬送人員がそれぞれ4,040件(34.5%)、3,708人(33.7%)と最も多くなっています。

(図Ⅱ-7参照)

図Ⅱ-7 署所別救急活動状況



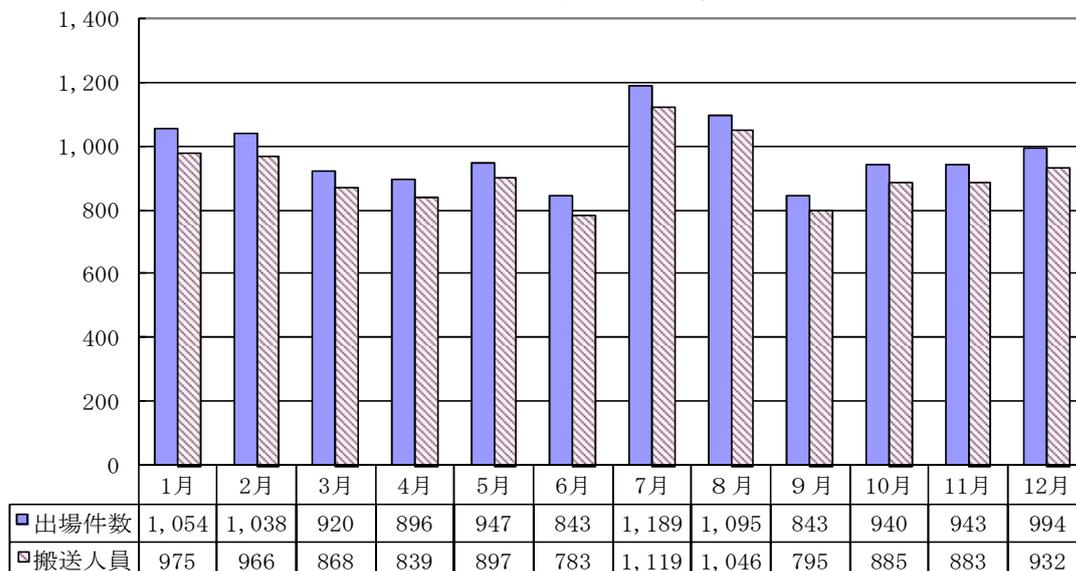
6 月別救急活動状況

月別の最多出動件数は、7月が1,189件(10.1%)、続いて8月の1,095件(9.3%)、1月1,054件(9%)、2月1,038件(8.8%)となっています。

搬送人員は、7月が1,119人(10.1%)で最も多く、続いて8月の1,046人(9.5%)、1月975人(8.8%)、2月966人(8.7%)となっています。

(図Ⅱ-8参照)

図Ⅱ-8 月別救急活動状況

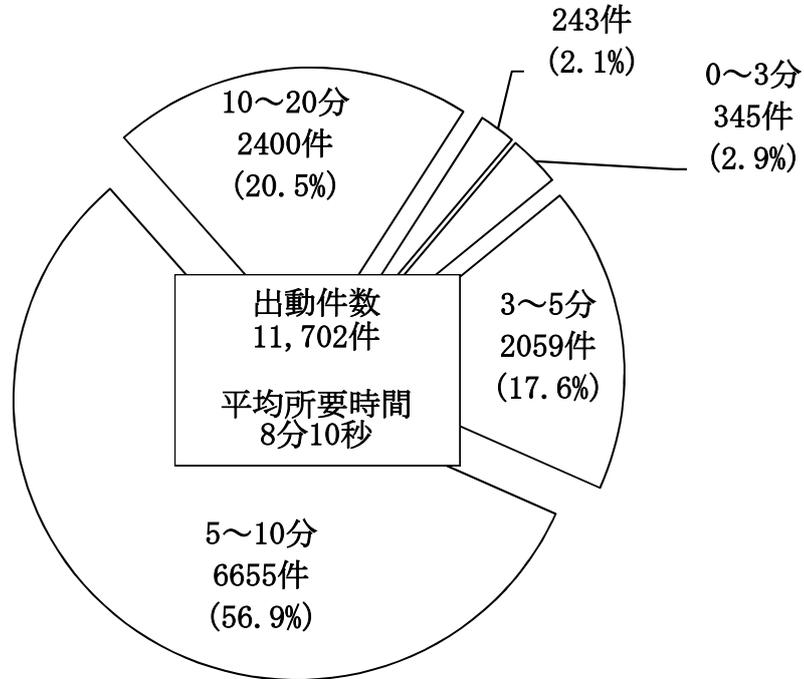


7 現場到着所要時間、収容所要時間

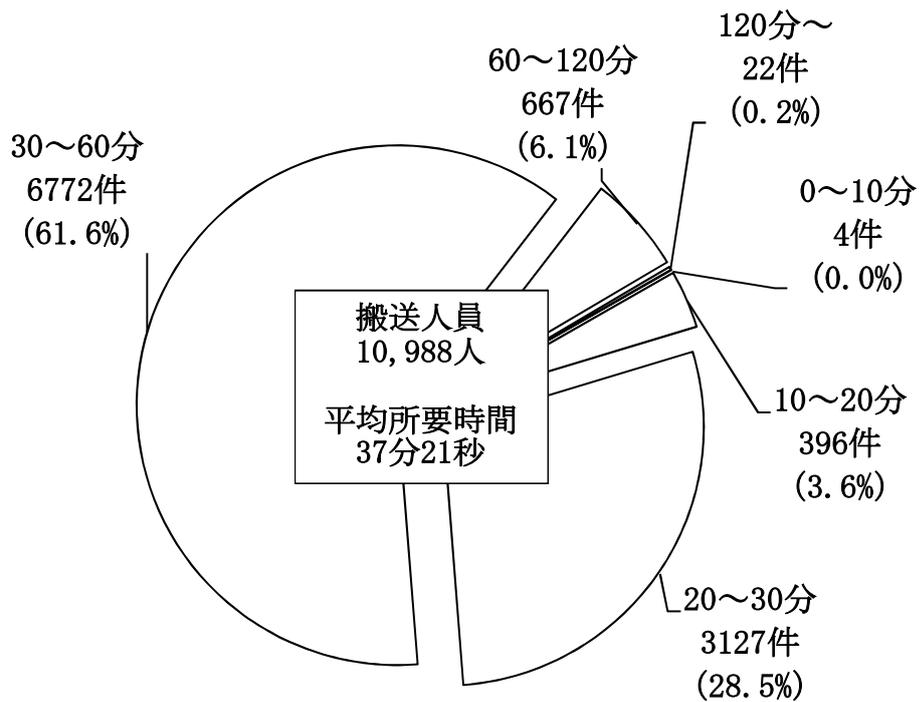
平均現場到着所要時間は8分10秒で昨年より6秒増加し、平均収容所要時間は37分21秒で前年より12秒増加しました。

(図Ⅱ-9、Ⅱ-10参照)

図Ⅱ-9 現場到着所要時間



図Ⅱ-10 収容所要時間



8 応急手当実施状況

心肺停止傷病者 260 人のうち、家族等により応急手当を受けた人は、128 人（49.2%）でした。（図 II-11 参照）

図 II-11 応急手当実施状況



9 高度救命処置状況

心肺停止傷病者 260 人のうち救急救命士の高度救命処置により、34 人が回復されました。（図 II-12、II-13 参照）

図 II-12 高度救命処置件数

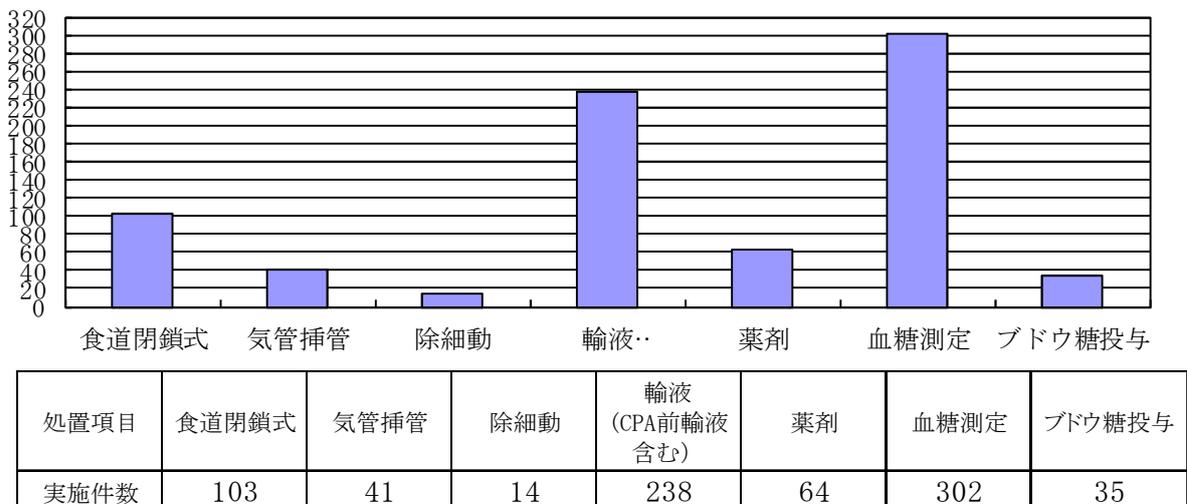
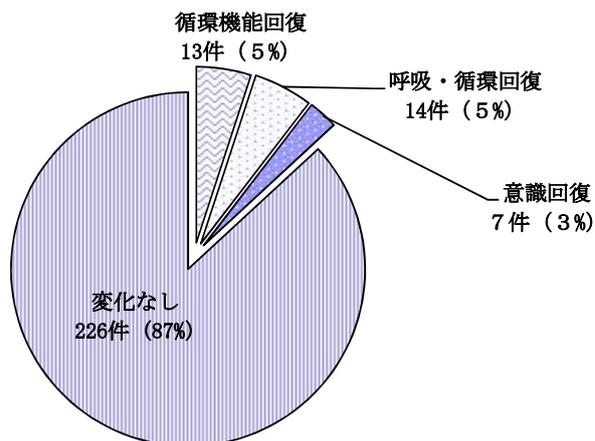


図 II-13 医師引き継ぎ時の状況

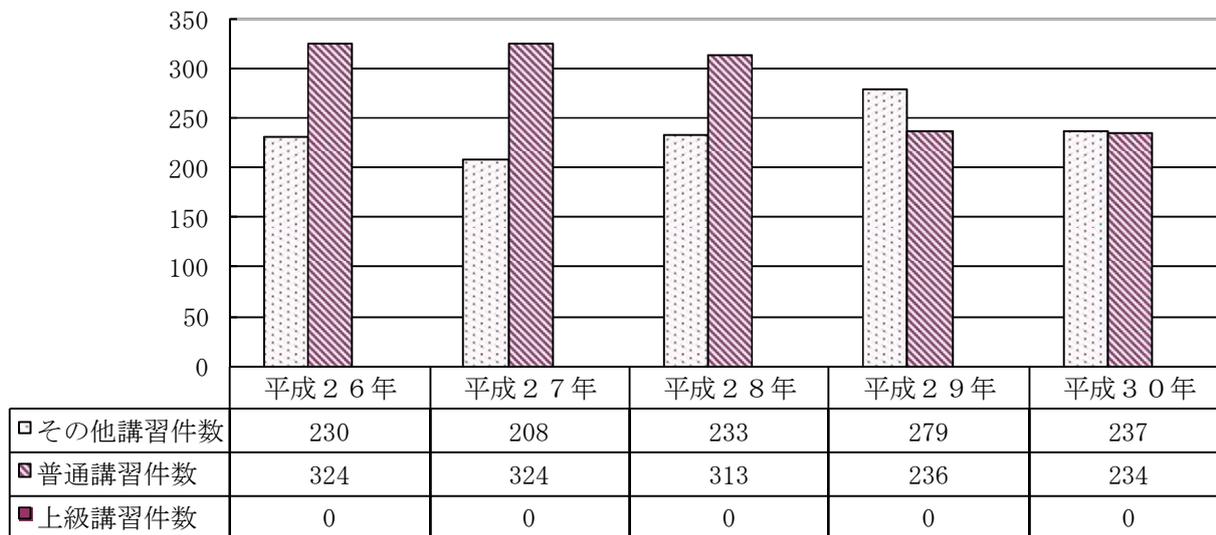


10 救急講習件数の推移

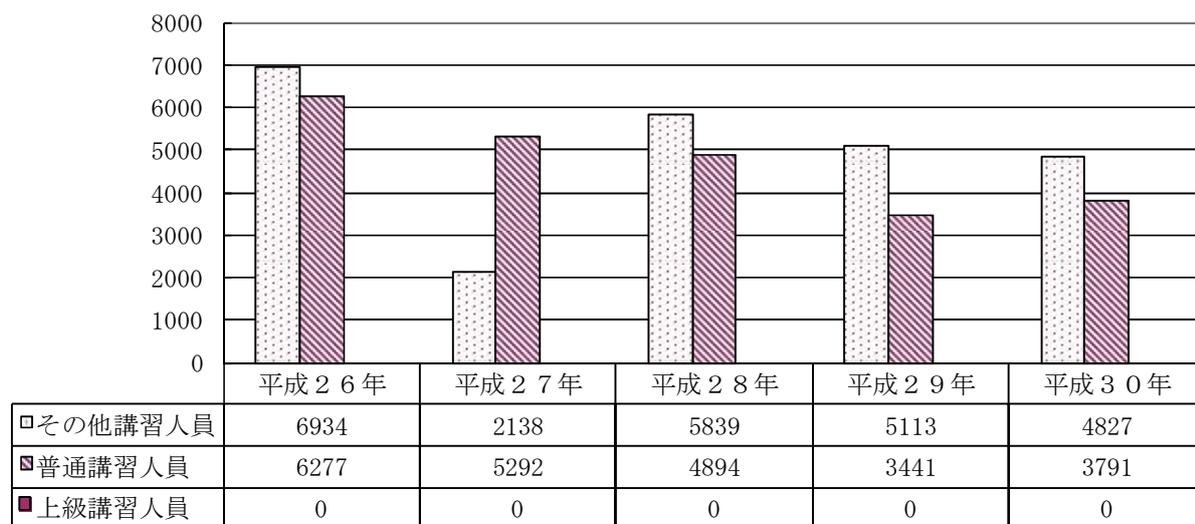
救急講習は毎年500件程度の依頼があり、圏域住民9,000人が受講され、応急手当に対する意識の高さがうかがえます。

(図Ⅱ-14、Ⅱ-15参照)

図Ⅱ-14 過去5年間の救急講習件数推移



図Ⅱ-15 過去5年間の救急講習人員推移



11 市町村別救急活動の推移です。過去 5 年間の救急件数の推移を見取ることができます。
 (表Ⅱ－1 参照)

表Ⅱ－1 過去5年間の市町村別救急件数

| | | 平成26年 | 平成27年 | 平成28年 | 平成29年 | 平成30年 |
|------|------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 米子市 | 件数 | 6,088 | 6,300 | 6,628 | 6,713 | 7,332 |
| | 搬送人員 | 5,645 | 5,919 | 6,263 | 6,277 | 6,837 |
| 境港市 | 件数 | 1,329 | 1,522 | 1,450 | 1,501 | 1,572 |
| | 搬送人員 | 1,265 | 1,451 | 1,389 | 1,428 | 1,493 |
| 日吉津村 | 件数 | 152 | 128 | 145 | 178 | 173 |
| | 搬送人員 | 139 | 126 | 144 | 173 | 165 |
| 大山町 | 件数 | 799 | 742 | 783 | 842 | 885 |
| | 搬送人員 | 736 | 697 | 746 | 790 | 834 |
| 南部町 | 件数 | 384 | 388 | 369 | 394 | 446 |
| | 搬送人員 | 360 | 366 | 352 | 379 | 432 |
| 伯耆町 | 件数 | 441 | 518 | 525 | 548 | 504 |
| | 搬送人員 | 410 | 498 | 502 | 520 | 478 |
| 日南町 | 件数 | 346 | 345 | 327 | 336 | 324 |
| | 搬送人員 | 327 | 323 | 307 | 317 | 309 |
| 日野町 | 件数 | 223 | 184 | 191 | 192 | 209 |
| | 搬送人員 | 217 | 175 | 184 | 176 | 190 |
| 江府町 | 件数 | 229 | 197 | 223 | 245 | 238 |
| | 搬送人員 | 222 | 188 | 213 | 234 | 232 |
| 圏域外 | 件数 | 45 | 39 | 13 | 12 | 19 |
| | 搬送人員 | 40 | 29 | 9 | 11 | 18 |
| 合計 | 件数 | 10,036 | 10,363 | 10,654 | 10,961 | 11,702 |
| | 搬送人員 | 9,361 | 9,772 | 10,109 | 10,305 | 10,988 |

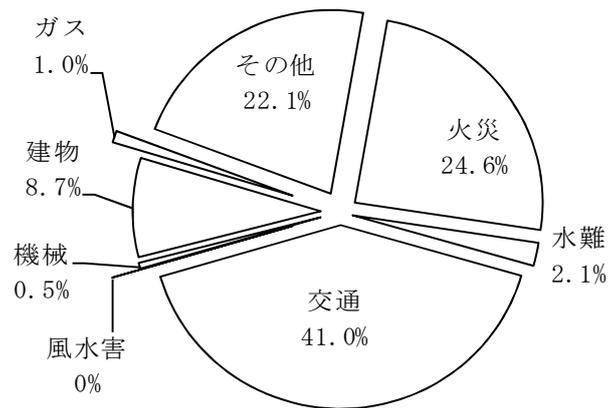
Ⅲ 救助概況

(平成30年1月～12月)

1 事故種別救助出動状況

救助出動件数は195件あり、そのうち交通事故が80件(41.0%)、火災が48件(24.6%)、その他の事故が43件(22.1%)、建物等による事故が17件(8.7%)、水難事故が4件(2.1%)、ガス・酸欠事故が2件(1.0%)、機械による事故が1件(0.5%)の順となっています。(図Ⅲ-1参照)

図Ⅲ-1 事故種別救助出動状況

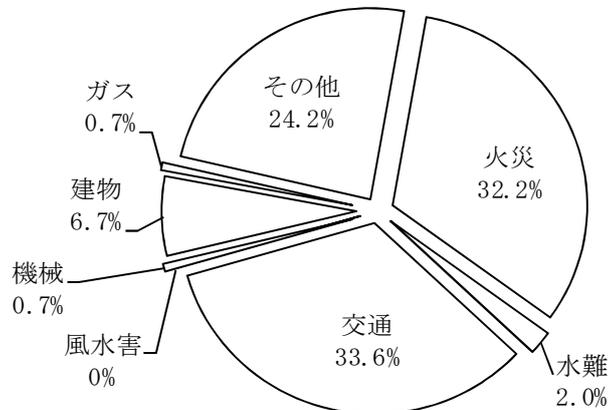


| 事故種別 | 火災 | 水難 | 交通 | 風水害 | 機械 | 建物 | ガス | 破裂 | その他 | 計 |
|------|----|----|----|-----|----|----|----|----|-----|-----|
| 出場件数 | 48 | 4 | 80 | 0 | 1 | 17 | 2 | 0 | 43 | 195 |

2 事故種別救助活動状況

救助活動件数は149件あり、そのうち交通事故が50件(33.6%)、火災が48件(32.2%)、その他の事故が36件(24.2%)、建物等による事故10件(6.7%)、水難事故が3件(2.0%)、ガス・酸欠事故が1件(0.7%)、機械による事故1件(0.7%)の順となっています。(図Ⅲ-2参照)

図Ⅲ-2 事故種別救助活動状況

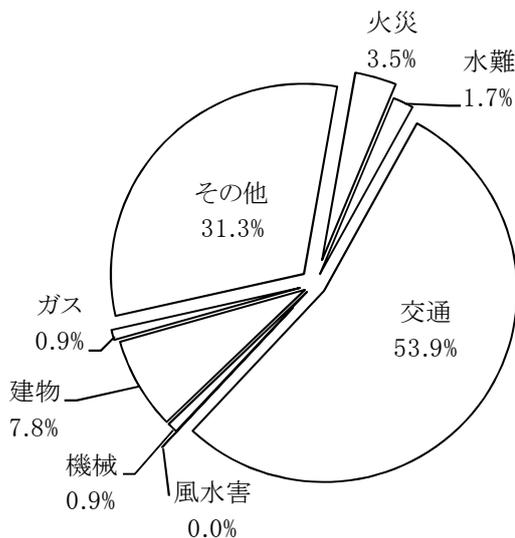


| 事故種別 | 火災 | 水難 | 交通 | 風水害 | 機械 | 建物 | ガス | 破裂 | その他 | 計 |
|------|----|----|----|-----|----|----|----|----|-----|-----|
| 活動件数 | 48 | 3 | 50 | 0 | 1 | 10 | 1 | 0 | 36 | 149 |

3 事故種別救助人員状況

救助活動により救助された人員は115人であり、そのうち交通事故が62人（53.9%）と最も多く、次いでその他の事故が36人（31.3%）、建物等による事故9人（7.8%）、火災が4人（3.5%）、水難事故が2人（1.7%）、ガス・酸欠事故が1人（0.9%）、機械による事故が1人（0.9%）、の順となっています。（図Ⅲ－3参照）

図Ⅲ－3 事故種別救助人員状況



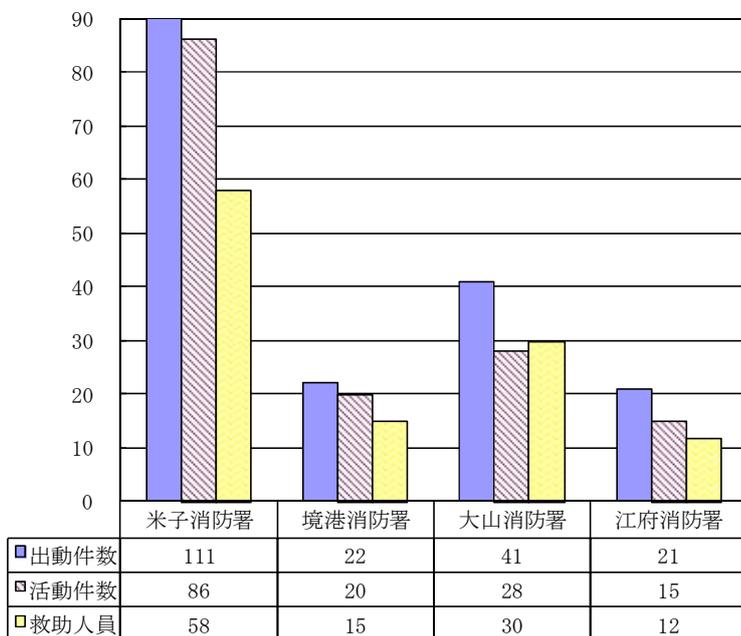
| 事故種別 | 火災 | 水難 | 交通 | 風水害 | 機械 | 建物 | ガス | 破裂 | その他 | 計 |
|------|----|----|----|-----|----|----|----|----|-----|-----|
| 救助人員 | 4 | 2 | 62 | 0 | 1 | 9 | 1 | 0 | 36 | 115 |

4 管轄別救助活動状況

消防署の管轄別に出動件数を見ると、米子消防署が111件（56.9%）と最も多く、次いで大山消防署が41件（21.0%）、境港消防署が22件（11.3%）、江府消防署が21件（10.8%）の順となっています。

（図Ⅲ－4参照）

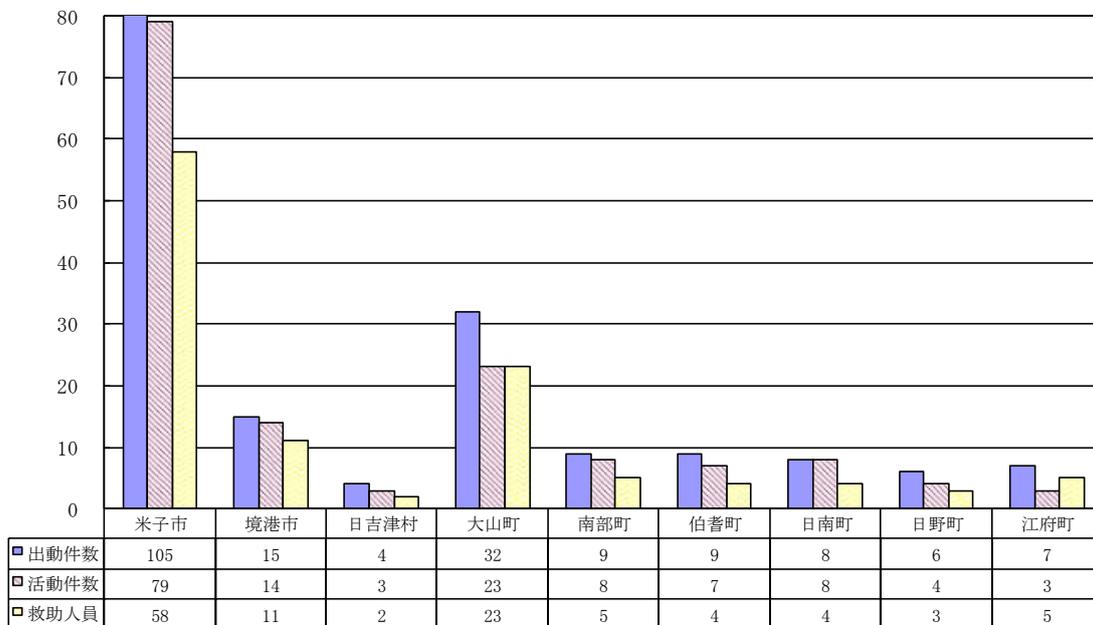
図Ⅲ－4 管轄別救助活動状況



5 市町村別救助活動状況

市町村別に救助活動状況を比較してみると、出動件数、活動件数、救助人員ともに、米子市が最も多く出動件数105件（53.8%）、次いで大山町が32件（16.4%）、境港市が15件（7.7%）、南部町が9件（4.6%）等の順となっております。（図Ⅲ—5参照）

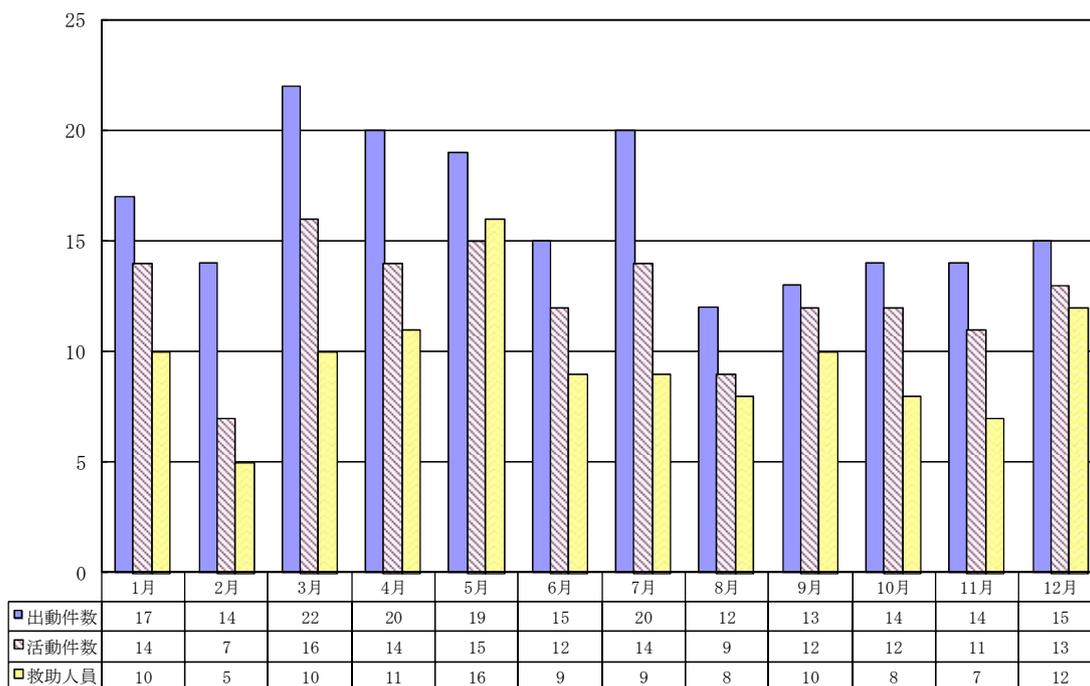
図Ⅲ—5 市町村別救助活動状況



6 月別救助活動状況

月別の救助出動件数を見ると、3月が22件（11.3%）と最も多く、次いで4月と7月が20件（10.3%）、5月が19件（9.7%）、1月が17件（8.7%）等の順となっています。（図Ⅲ—6参照）

図Ⅲ—6 月別救助活動状況



IV 119番着信概況

(平成30年1月～12月)

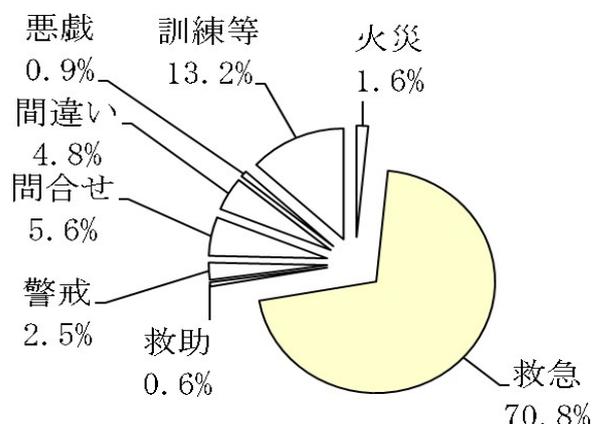
1 着信件数の概況

平成30年中の119番通報の着信件数の概況は、総着信件数15,633件で昨年に比べ1,138件(7.2%)多くなっています。1ヶ月平均にすると約1,302件、1日平均では約42件の着信となります。通報種別としては、救急が最も多く11,052件(70.8%)でした。火災は245件(1.6%)、救助96件(0.6%)、警戒390件(2.5%)、病院などに関する問い合わせ等882件(5.6%)、間違い757件(4.8%)、悪戯と思われるものが140件(0.9%)、通報訓練等2,071件(13.2%)でした。

(表IV-1参照)

表IV-1 着信件数内訳

| | |
|-----|--------|
| 火災 | 245 |
| 救急 | 11,052 |
| 救助 | 96 |
| 警戒 | 390 |
| 問合せ | 882 |
| 間違い | 757 |
| 悪戯 | 140 |
| 訓練等 | 2,071 |
| 合計 | 15,633 |



2 月別の119番着信状況

月別で着信件数の最も多かったのは7月の1,534件で、最も少なかったのは9月の1,134件でした。救急通報で最も多かったのは7月の1,127件、最も少なかったのは6月の754件で、月平均921件でした。火災通報で最も多かったのは4月の48件、最も少なかったのは5月の8件で、月平均約20件でした。

(表IV-2参照)

表IV-2 月別119番着信状況

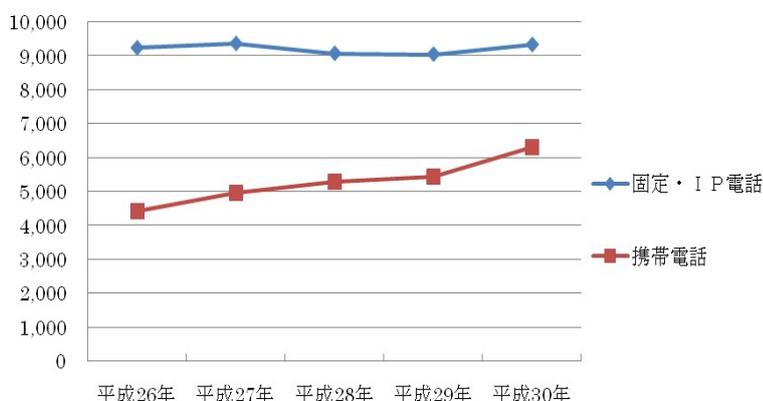
| | 火災 | 救急 | 救助 | 警戒 | 問合せ | 間違い | 悪戯 | 訓練等 | 合計 |
|-----|------|--------|-----|------|------|------|------|-------|---------|
| 1月 | 22 | 988 | 3 | 32 | 92 | 68 | 4 | 70 | 1,279 |
| 2月 | 17 | 994 | 12 | 31 | 96 | 66 | 15 | 129 | 1,360 |
| 3月 | 35 | 866 | 10 | 30 | 89 | 63 | 9 | 245 | 1,347 |
| 4月 | 48 | 835 | 6 | 25 | 69 | 74 | 45 | 216 | 1,318 |
| 5月 | 8 | 902 | 8 | 24 | 73 | 60 | 11 | 180 | 1,266 |
| 6月 | 11 | 754 | 10 | 33 | 74 | 65 | 9 | 185 | 1,141 |
| 7月 | 18 | 1,127 | 16 | 34 | 90 | 67 | 14 | 168 | 1,534 |
| 8月 | 24 | 1,051 | 6 | 29 | 86 | 47 | 12 | 113 | 1,368 |
| 9月 | 20 | 813 | 5 | 22 | 37 | 61 | 6 | 170 | 1,134 |
| 10月 | 13 | 906 | 5 | 39 | 52 | 54 | 8 | 203 | 1,280 |
| 11月 | 12 | 887 | 8 | 40 | 61 | 72 | 3 | 235 | 1,318 |
| 12月 | 17 | 929 | 7 | 51 | 63 | 60 | 4 | 157 | 1,288 |
| 合計 | 245 | 11,052 | 96 | 390 | 882 | 757 | 140 | 2,071 | 15,633 |
| 月平均 | 20.4 | 921.0 | 8.0 | 32.5 | 73.5 | 63.1 | 11.7 | 172.6 | 1,302.8 |

3 電話種別による119番着信状況

電話種別ごとに着信件数を見ますと、固定・IP電話は9,329件で282件の増加、携帯電話は6,304件で856件の増加でした。携帯電話からの通報の割合が40%を超え、過去最高となりました。

災害別に電話種別による通報状況を見ますと、火災、救助、警戒など衆人に発見されやすいものについては携帯電話での通報比率が約63%と高く、救急など屋内での発生が多いものについては固定・IP電話での通報比率が約60%と高くなっています。(表IV-3、IV-4参照)

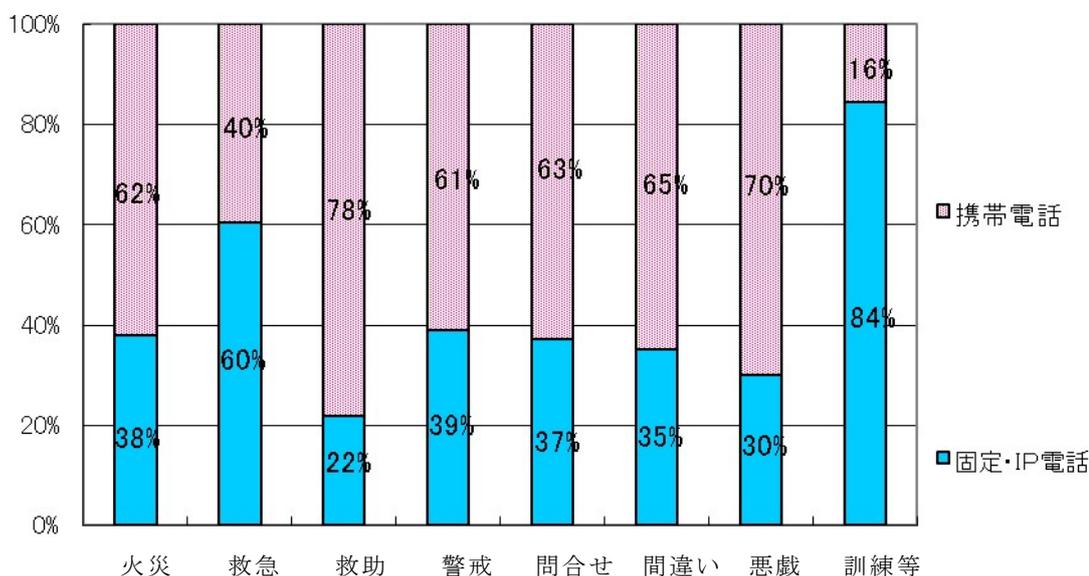
表IV-3 電話種別による119番着信件数の推移



| | 固定 IP電話 | 携帯電話 | 合計 |
|-------|------------|-------|--------|
| 平成26年 | 9,233 | 4,425 | 13,658 |
| 平成27年 | 9,358 | 4,969 | 14,327 |
| 平成28年 | 9,069 | 5,296 | 14,365 |
| 平成29年 | 9,047 | 5,448 | 14,495 |
| 平成30年 | 9,329 | 6,304 | 15,633 |

表IV-4 電話種別による通報状況

| | 火災 | 救急 | 救助 | 警戒 | 問合せ | 間違い | 悪戯 | 訓練等 | 合計 |
|---------|-----|--------|----|-----|-----|-----|-----|-------|--------|
| 固定・IP電話 | 93 | 6,681 | 21 | 152 | 328 | 265 | 42 | 1,747 | 9,329 |
| 携帯電話 | 152 | 4,371 | 75 | 238 | 554 | 492 | 98 | 324 | 6,304 |
| 合計 | 245 | 11,052 | 96 | 390 | 882 | 757 | 140 | 2,071 | 15,633 |



4 携帯電話からの着信状況

携帯電話からの119番通報は6,304件で、総着信件数の約40%でした。また、携帯電話からの問合せ、間違いなどの通報が多くみられます。

西部消防圏域内から他の消防機関へ着信した119番通報を転送受信した件数は33件でした。逆に西部消防圏域外から着信した119番通報を他の消防機関へ転送処理した件数は36件ありました。

(表IV-5、IV-6参照)

表IV-5 携帯電話からの着信状況

| 西部消防圏域内の災害などの着信件数 | | | 他の消防機関に転送をした件数 |
|-------------------|------------------|-------|----------------|
| 直接通報を受けた件数 | 他の消防機関から転送受信した件数 | 総着信件数 | |
| 6,271 | 33 | 6,304 | 36 |

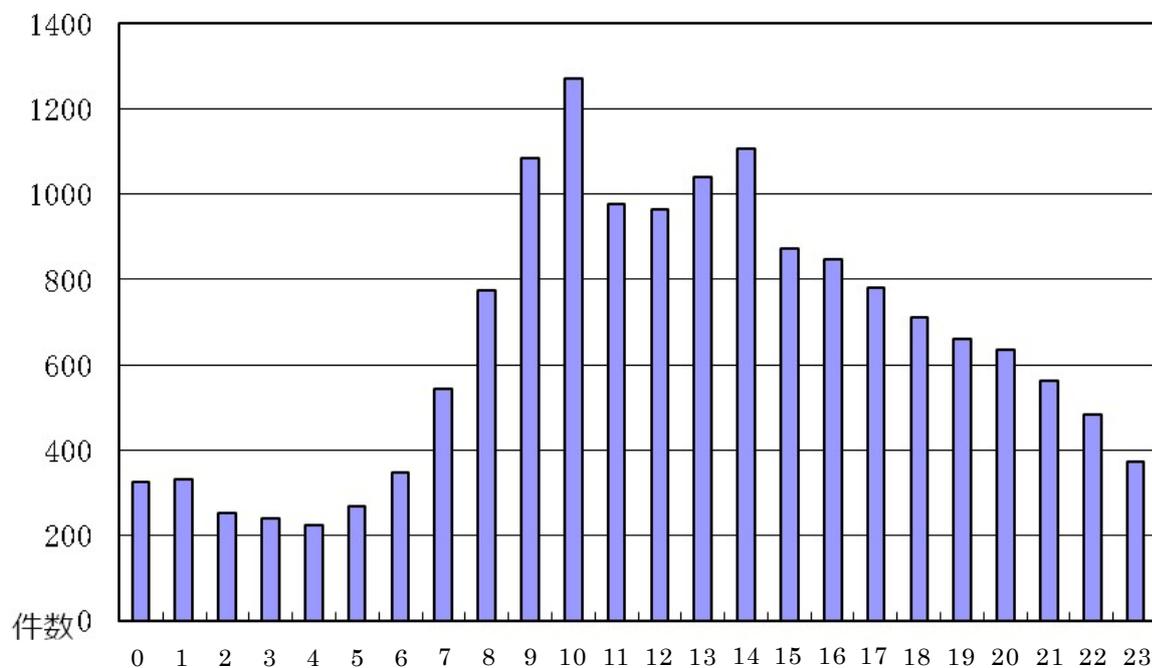
表IV-6 携帯電話の消防機関別転送状況

| 他の消防機関から転送を受信した件数 | | | | | 他の消防機関に転送した件数 | | | | |
|-------------------|----|----|-----|----|---------------|----|----|-----|----|
| 消防 | 火災 | 救急 | その他 | 合計 | 消防 | 火災 | 救急 | その他 | 合計 |
| 松江 | 1 | 6 | 2 | 9 | 松江 | 0 | 17 | 3 | 20 |
| 安来 | 1 | 11 | 3 | 15 | 安来 | 0 | 10 | 1 | 11 |
| 東部 | 0 | 3 | 0 | 3 | 東部 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 中部 | 0 | 2 | 0 | 2 | 中部 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| その他 | 0 | 4 | 0 | 4 | その他 | 0 | 4 | 0 | 4 |
| 合計 | 2 | 26 | 5 | 33 | 合計 | 0 | 32 | 4 | 36 |

5 時間帯別119番通報の着信状況

時間帯別に119番通報の着信比率を見ると、一般的な活動時間帯(午前8時～午後9時台)では全体の約78%で、睡眠時間帯(午後10時～午前7時台)では約22%でした。(図IV-1参照)

図IV-1 時間帯別着信状況



忘れてない？ サイフにスマホに 火の確認

平成30年度全国統一防火標語

火災情報テレホンガイド 0859-22-0119

防火・救急に関するご相談・お問い合わせ

お気軽に最寄りの消防署へどうぞ

| 名 称 | 所 在 地 | 郵便番号 | 電 話 番 号 |
|------------|------------------|----------|--------------|
| 消 防 局 | 米子市両三柳5452番地 | 683-0853 | 0859-35-1951 |
| 米子消防署 | 米子市富士見町一丁目103番地1 | 683-0055 | 0859-39-0251 |
| 米子消防署皆生出張所 | 米子市上福原313番地1 | 683-0004 | 0859-39-0253 |
| 米子消防署南部出張所 | 西伯郡南部町清水川3番地1 | 683-0321 | 0859-39-6003 |
| 米子消防署伯耆出張所 | 西伯郡伯耆町溝口20番地4 | 689-4201 | 0859-39-9001 |
| 境港消防署 | 境港市中野町2116番地 | 684-0041 | 0859-47-0119 |
| 境港消防署弓浜出張所 | 米子市大篠津町2913番地1 | 683-0101 | 0859-48-2005 |
| 大山消防署 | 西伯郡大山町末吉403番地2 | 689-3331 | 0859-39-5002 |
| 大山消防署中山出張所 | 西伯郡大山町長野880番地3 | 689-3136 | 0858-49-3001 |
| 江府消防署 | 日野郡江府町武庫1390番地3 | 689-4411 | 0859-77-2001 |
| 江府消防署生山出張所 | 日野郡日南町生山349番地1 | 689-5211 | 0859-77-1001 |

※本概況に関するお問い合わせは下記をお願いします。

| | |
|------------------|--------------|
| 火災…………… 予防課予防係 | 0859-35-1954 |
| 救助…………… 警防課消防第一係 | 0859-35-1959 |
| 救急…………… 警防課救急室 | 0859-35-1958 |
| 119番着信状況…指令課指令係 | 0859-35-1960 |

平成31年2月発行

〒683-0853 米子市両三柳5452番地

鳥取県西部広域行政管理組合消防局

TEL 0859-35-1951(代)